



とうおん

議会だより

TOON CITY COUNCIL REPORT

2022年
第64号

令和4年2月1日発行

地域で活躍する人 P2

予算化事業 その後 P3

12月定例会 補正予算 P4

請願審査 P7

4議員が市政を問う!! P10

無病息災を願った“どんど焼き”
(田窪どんど焼き保存会)



地域の魅力磨き上げ事業
ほっこり奥松
体験スペースを増築

予算化事業
その後



奥松瀬川創生会議 副会長
はなやま たかしげ
花山 隆重さん

コミュニティー部門と竹細工・手芸教室の部屋が別々にできて大変よくなりました。

地元の人が集い、楽しい会話や話題でみんなが「ほっこり」と思えるように

平成29年に移住交流拠点施設としてオープンした「ほっこり奥松」体験スペースの増築で 更なる交流を

「奥松瀬川創生会議」の会員（地元の30～70歳代の約60人）が中心となって週5日（水・木以外）運営。農産物や手芸品の直売所があり、地元住民が作った野菜を格安で販売。月3回パンの販売やピザ体験・門松販売など、季節に応じた活動も。



かご、ざる、弁当箱、バッグ等を製作。販売はしていない。登録生徒数は10人。教室では竹を切る材料作りから行っている。

竹細工教室



竹細工教室 講師
にしはら さとし
西原 悟志さん

手芸教室 講師
もとやま みちこ
元山 美智子さん



生徒は東温市民・松山市民合わせて25人。60～70歳代で月3回開催。3か月に1回作品を制作。みんなで楽しくお話ししながら作ることで、ストレス解消に。

手芸教室

談笑 交流
定期教室 を開催
を深め

創生会議発足から活動開始。7人で活動し、強かごは「さくらセレクト」にも選ばれた。12月は地元で採れた木の実などを使ったリース、1月はひな人形、その次は着物の端切れで作ったエプロンやバッグを販売。

詳しくは「ほっこり奥松」のホームページで



地域で活躍する人

地域で活躍する人 『夢クラブ上村』

今回は、シリーズ第2弾として上村区で活躍する「夢クラブ上村」の皆さんの活動を紹介します。



今年のツリー設置メンバー

◆「夢クラブ上村」設立の目的は

「会員個々の夢」「集落発展の夢」の実現という意味が込められ、会の趣旨に賛同する人なら誰でも参加できます。コミュニケーションを図り、仲間意識を強めるため、平成8年4月に発足しました。

◆どんな活動を

コロナ禍以前は年3回、4月に「源平谷池の鯉のぼり」、8月に「盆踊り大会」の出店（焼き鳥）、12月に「巨大クリスマスツリーの設置」をしていました。今後は現在取り組んでいる活動のブラッシュアップを図っていきたくいです。

◆今の課題は

発足当時は25～45歳の50人程が参加していました。現在は40～75歳の35人程と、会員数も減っており、何と言っても「後継者不足」が課題となっています。

◆議会への要望は

上村区は若い人が少ないように思います。若者が移住しやすい環境づくりをしてほしいです。



夢クラブ上村 会長
すみやま しんいち
住山 眞一さん



毎年12月に設置する巨大クリスマスツリー

地域の人の声



いしまる はるき
石丸 遥煌さん

大きなツリーを楽しみにしています。たくさんの人たちに見てもらって楽しんでもらいたいです。



たなか ゆうすけ
田中 優佑さん

コロナ禍でも季節を感じる「鯉のぼり」や「クリスマスツリー」家族みんなで楽しみにしていて、癒されています。



いけもと きな
池本 黄菜さん

毎年楽しみにしています。上村を通った人を見てくれると嬉しいです。

5月の連休に鯉のぼりをします!!

次回は「牛淵区」を取材予定です。



【上村区】

東温市の南西部（拝志小学校区、旧重信町）。松山市との市境、重信川左岸に位置し、区内には「重信川かすみの森公園」や「ゴルフ場」がある。

地名のいわれは、「洪水の心配のない処、台地の上で、上村」。1月1日の人口は423人（190世帯）。

12月定例会

補正予算

第6回東温市議会12月定例会が12月3日から12月23日まで21日間の会期で開催されました。
 今定例会では市長提案の一般会計補正予算等22議案（補正予算10件、条例制定・改正7件、その他議案3件、人事案件2件）及び請願3件、請願に対する意見書1件、議会提案議案1件の合計27議案を慎重に審議しました。
 また、4人の議員が一般質問を行いました。

一般会計補正予算
12億5177万円
 （累計177億1414万円 前年度同期比11.6%減）

質疑

下林区、北方西区
 宝くじ助成で備品整備

問 この補助事業では補助件数に上限はあるのか。
答 自治総合センターに申請し、採択されれば交付決定となるため、補助事業件数の上限は規定されていない。

本市で初めての
 企業版ふるさと納税

問 企業版ふるさと納税は、どの事業に対するものか。
答 総合戦略に掲げている「アートヴィレッジとうおん創生事業」に対して300万円の寄付をいただいた。

小規模保育事業所
 運営開始に給付

問 給付費は、どのような経費に充てられるのか。
答 小規模保育事業所「スポキッズなかよし保育園」開設に伴う増額。主に保育士等の人件費、その他施設運営等の維持経費に充てられる。



令和3年10月に開設された
 スポキッズなかよし保育園

子育て世帯への臨時特別給付金 10万円 一括給付へ

問 所得制限の対象となった市民、子どもたちへの対応は。
答 所得制限で給付対象とならない子どもの数が約270人、2700万円程度、市の単独財源が必要になる。現状では、国の制度の範囲内で実施する。

問 子育て支援をするに今以上に地域経済活性化に向かうのではないのか。
答 現在、子育て支援は、広範多岐にわたって実施しており、その中で適切に対応したい。

ワクチン3回目接種
 2月から

問 一般高齢者のワクチン3回目接種はいつからか。
答 2回目接種後の間隔は、原則8か月以上とされているため、2月から予定している。1月から週1回程度の間隔で接種券を発送し、予約受付を開始する予定。



スマホによるWeb予約

ワクチン交差接種
 分量を見極め計画

問 ワクチンの配分はどうなっているのか。
答 ワクチンは、ファイザーとモデルナを併せて、接種希望者に必要な量のワクチンが配分されるが、長期的な見通しは立っていない。

問 交差接種は今後どうなっていくのか。
答 希望に沿ったワクチンの量が配分されるかどうか不明であるが、供給量を見極めながら接種計画を立て、希望されるワクチンの接種に努めたい。

小中学校タブレット端末
 今後、持ち帰りへ

問 家庭へ端末を持ち帰るためのものか。
答 基本的に持ち帰り用としてクッションケースを購入するが、学校での活用も想定している。



1人1台 タブレットを使って学習する児童

プロ野球オールスター
 ゲーム機運醸成に向け

問 オールスターゲーム機運醸成業務委託料の内容は。
答 元プロ野球選手を招いた野球教室や講演会、野球カーニバル開催委託料及びプロ野球のスタジアムで放映するオリジナル動画作成委託料。



子ども野球教室

学校・家庭・地域が
 連携して事業実施

問 持ち帰り開始時期の判断はどう行われるのか。
答 持ち帰りは、フィルタリングや端末設定等の環境を整えた上で、来年度の開始を考慮している。開始時期は、学校と協議しながら、教育委員会として示したい。

問 横河原ぶらっとホームでの放課後子ども教室は、どのような指導をするのか。
答 講座の回数は7回。多世代交流拠点施設利用者協議会 ekitto（エキト）へ委託し、音楽教室やタップダンス教室等の講座を考えている。

条例 市立認定こども園 条例の制定

問 北吉井幼稚園が認定こども園へ移行することで、園児、保護者はどのように変わるのか。

答 来年4月以降、認定こども園へ移行することに伴い、これまでの園での生活が急に大きく変わる訳ではない。環境が変わることに、現在の北吉井幼稚園の運営形態をベースとしている。



4月から認定こども園に移行する北吉井幼稚園

条例 公共下水道条例の 一部改正

問 今後、どのような経営戦略を描いているか。

答 現在の経営戦略は平成28年度に策定しており、全体計画・事業計画の見直し、企業会計の移行及び使用料適正化の検討を経た上で、令和4年度に見直す予定としている。

問 使用料を20%改定するとした根拠は。

答 20年間の将来予測では独立採算制を考慮すると70%を超える改定の試算結果となった。上下水道事業経営審議会にて審議を重ねた結果、独立採算制、市民生活に対する影響などを考慮し、段階的な改定として20%の増収を見込んだ改定となった。

問 審議会でコロナ禍への配慮の議論があったのか。

答 コロナ禍での収入減への影響についても議論があり、それらを踏まえた改定となった。

下水道使用料（2か月分）新旧比較【税込】

汚水量	現行使用料	改定後使用料	差額
20㎡	2,750円	3,230円	480円
40㎡	6,020円	7,010円	990円
60㎡	9,610円	11,150円	1,540円
80㎡	13,460円	15,950円	2,490円
100㎡	17,310円	20,740円	3,430円

反対
渡部 勇次



およそ20%増額改定されることになる。コロナ禍の状況下、負担が大きすぎる。「標準家庭で16%増」との説明も事実を正確に示していない。

賛成
野口 竜



市民ら15人の上下水道事業経営審議会で答申があったとおり、下水道事業の倒産を避けるには、やむを得ない改定と考える。市民へ分かりやすく、しっかりと周知を。

11月臨時会

第5回東温市議会11月臨時会が11月25日に開催されました。

今臨時会では、愛媛県人事委員会勧告等に伴う議員・特別職・職員の手当の支給率の引き下げ改正議案について、即日採決の結果、原案可決しました。

また、令和2年度一般会計ほか5会計の決算を認定。専決処分であった一般会計補正予算（新型コロナウイルス感染症対策中小零細企業応援給付金第2弾等 8600万円）を承認しました。

人事案件では、農業委員会委員（1人）の辞任に伴う補充委員の任命について、同意しました。

請願審査

12月定例会では、市民等から提出のあった請願3件の審査を行いました。

審査の結果、請願2件を「採択」、1件を「不採択」としました。「採択」された請願のうち、1件は国に対して市議会として意見書を提出。もう1件は市長に請願書を送付し、その処理の経過及び結果の報告を求めることに決定しました。

請願第2号

不採択

米価の暴落阻止のため過剰在庫の市場隔離と生活困窮者への食料支援を求める請願
過剰米を市場隔離し、生活困窮者に対する食料支援制度を実現することを求めるもの

審査結果

請願を審査した総務産業建設委員会では賛成者はなく「不採択」。本会議では賛成少数で「不採択」となりました。

反対
亀田 尚之



請願の米価対策と困窮者対策について、過剰米の食料支援だけでは解決できる問題でない。それぞれを分割して多方面からの提言が必要と思われる。不採択とした。

賛成
森 眞一



米価の暴落は、政府が余剰米を買い取って食い止めるべきだ。アメリカなど外国からの米や農作物の輸入をやめ日本の農家を守り、食料自給率を高めるべきだ。

請願第3号

採択

国立病院の機能強化を求める請願

コロナ等の感染症や大規模災害から国民の命を守るため、国立病院を機能強化することを求めるもの

審査結果

請願審査を付託された文教市民福祉委員会では全員賛成で「採択」。本会議でも全員賛成で「採択」されました。

国へ意見書を提出

国立病院の機能強化を求める意見書（要旨）

- 国立病院に新興・再興感染症対策に十分対応できる専門病床を設置し、人工呼吸器やECMO等の医療機器の整備を進めること
- 大規模災害等の発生時においても、万全な医療が提供できるように国立病院の体制整備に必要な支援を行うこと
- 医師、看護師の増員をはじめ、国立病院



請願の趣旨説明を行う
全医労 上田 佳代さん（右）

請願第4号

採択

子どもたちの舞台芸術体験教育の充実に関する請願

より多くの子どもたちに舞台芸術の体験教育が実現できるように東温市内小中学生全員の観劇にかかる費用の助成を求めるもの

審査結果

請願審査を付託された文教市民福祉委員会では全員賛成で「採択」。本会議でも全員賛成で「採択」されました。

賛成
細川 秀明



教育的効果のある小中学校への観劇の費用助成から、にぎわい創出の原点である坊っちゃん劇場との相乗効果を深め、アートウィレッジとうおん構想の正念場を乗り切る。



請願の趣旨説明を行う
東温市PTA連合会会長 熱田 久さん（右）

請願を市長へ送付
採択された請願書は、市長に送付し、その処理の経過及び結果を令和4年度予算が確定するまでに議会に報告するよう決定しました。

一般会計決算 新型コロナ対策事業で 過去最大

会計名	収入決算額（前年度比）	支出決算額（前年度比）
一般会計	206億3956万円（+22.1%）	196億7415万円（+21.5%）
特別会計	89億 961万円（+ 1.5%）	80億2907万円（+ 2.0%）
企業会計	30億5769万円（+21.4%）	34億9321万円（+25.3%）
計	326億 686万円（+15.6%）	311億9643万円（+16.2%）

令和2年度の主な事業

- 学校 ICT（GIGA スクール）整備事業 4億9748万円
- スマートインターチェンジ整備事業 1億6063万円
- 新型コロナウイルス感染症緊急経済対策事業
 - ・特別定額給付金（1人10万円） 33億6634万円
 - ・子育て・ひとり親世帯臨時特別給付金 1億 695万円
 - ・営農継続支援事業 2488万円
 - ・中小零細企業応援給付金 1930万円
 - ・とうおん飲食店等応援促進事業 1300万円

市民税 不納欠損

問 個人市民税の不納欠損額が昨年比2倍近くとなった理由は。

答 時効と執行停止処分に係る不納欠損額が増加した。

市たばこ税 入湯税収入

問 予算額に対する決算額が乖離している原因は。

答 たばこ税は、健康志向等により本数は減少しているが、増税により増収となった。今後も増税が予定されており、本数は減少しても増収が見込まれる。

入湯税は、市内にある「利楽」と「さくらの湯」が新型コロナウイルスの影響や施設のリニューアルによる休館があり減収となった。今後は緊急事態宣言等が出なければ増収が見込まれる。

生活交通バス路線への運行助成

問 利用者の増加に繋がる改善や効率的な運行方法の検討は。

答 伊予鉄バス山間8路線の運行経費を補助。乗車数は1台あたり平均2・3人。今後の公共交通の在り方を踏まえ計画の見直しを行っている。特に枝線となる山間路線については、地域の方々と協力し、地域の実情にあった運行方法の検討に取り組んでいく。



「みんなの公共交通を考える会」が取り組んでいる「路線バス 東温ぶらり発見」

地域の魅力磨き上げ事業

問 事業の内容は。

答 中山間地域の4つの地域運営組織で実施する、地域の魅力の磨き上げに向けた取り組みに対し、各地域200万円を上限に助成。
①奥松瀬川地区の「ほっこり奥松の増築事業」②井内地区の「天然シキミ線香生産継続化事業」③河之内地区の「松山藩の奥座敷・眠れる瀧・河之内の活性化事業」④滑川地区の「シーニックハイウェイ滑川事業」



奥松瀬川地区「ほっこり奥松の増築事業」増築された体験スペースで“手芸教室”

セーフティネットワーク事業

問 個別避難計画の策定状況は。

答 令和2年度の名簿登載者数は4400人。その内、名簿情報の提供同意者が3268人（74・3%）。個別避難計画の策定者は1422人（32・3%）。

問 策定率を上げる取り組みは。

答 ケアマネージャーや相談支援専門員などの福祉事業者を通じて計画作成を推進する新たな試みを実践している。最終的な策定率は40%を超えると見込んでいる。

地区敬老会支援事業

問 今年度の実施状況は。

答 今までどおり、1人あたり3000円の補助を行っている。

問 事業の見直しは。

答 今年9月に開催された区長会において、①補助金額を一律引き下げ②敬老会出席者のみに支給③廃止など、見直しの検討を説明。来年1月までに方針を決定する予定。

次世代ファーマーサポート事業

問 事業で導入した機械等のその後の活用確認は。

答 新規就農者の営農定着や規模拡大に必要な農業用機械や施設等を導入する、えひめ中央農協に対して補助金を交付。導入後の利用については、当面、えひめ中央農協が管理している。

営農継続支援事業

問 支援対象と効果は。

答 新型コロナウイルスの影響により、売上減少等の影響を受けた野菜・花き生産者115人に対し、対象面積に応じて10aあたり5万円を交付。対象者の営農継続に対する支援ができた。

市営住宅の長寿命化計画

問 計画の策定内容は。

答 長寿命化計画は平成22年に作成しており、10年目の定期見直しを行った。予防保全的な修繕・改修を行うことで、コスト削減や長寿命化を図る。

古い住宅を壊す計画は。

問 耐用年数を超過し用途廃止を計画している住宅は36戸ある。入居されているため、退去や転居の働きかけを行い、順次、用途廃止していく予定。



耐用年数を超過した市営住宅

議会が議決した令和2年度の各会計予算が適正に執行されたか審査を行い、本会議で採決の結果、全会計決算が認定されました。

決算審査特別委員会
委員長 近藤 千枝美

4議員 市政を問う!!

一般質問



各議員の枠内にあるQRコードを読み取ると議会本会議での一般質問の動画を観ることができます。

12月定例会

問 黒川都市整備課長
本市の交通環境は地域によって差異があることや、65歳以上の人口は現在1万人を超え、今後増加傾向にあることなどから、市全体の公共交通の在り方などの課題を整理し、市民・交通事業者・行政が一体となって、様々な観点から検討する必要があります。

答 黒川都市整備課長
本市の交通環境は地域によって差異があることや、65歳以上の人口は現在1万人を超え、今後増加傾向にあることなどから、市全体の公共交通の在り方などの課題を整理し、市民・交通事業者・行政が一体となって、様々な観点から検討する必要があります。

移動手段のない高齢者に
公共交通への補助を!



森 眞一 議員

がある。



お年寄りの足を守る公共交通に助成を

問 山間部のバス路線の土日曜日の運行はできないか。
答 黒川都市整備課長
地域公共交通総合連携計画の取り組み

一般団員年額報酬	
基準報酬	36,500円
全国平均	30,925円
愛媛平均	24,310円
東温市	21,000円
いずれも下回っている	

特別職・議員報酬10%削減し
消防団員報酬の満額アップを!



大西 正之 議員

問 和消防長
消防庁長官から消防団員の報酬等の基準の策定等について通知があった。この基準に基づき、報酬等の見直し検討を進めている。現時点で具体的な報酬額等の決定には至っていない。

答 加藤市長
報酬審議会での議員特別職報酬の答申をいただき、その結果を受け団員報酬や行

問 市内業者で施工可能な市発注の公共工事は、市内に本社を有するか、災害協定締結業者へ、受注機会を増大すべきと考えるが市の考えは。

答 高須賀財政課長
地元業者への優遇措置として、建設工事競争入札参加者への格付けで、災害協定締結業者又は締結している組織加入者への加算等を行っている。指名競争入札参加業者の選定にあたっては、市内業者の選定に十分配慮している。

市発注公共工事
市内建設業者・災害協定締結業者への優先発注を

政委員報酬の条例改正を行ってきた。今回の提案も含め、参考としながら、条例改正を進めていきたい。

問 市の女性職員の管理職登用の実績は。
答 田中総務課長
市内20市町の平均女性管理職比率と本市を比較した場合、平成30年度県内平均7.8%に対し、本市は9.1%、(県下20市町中6位)、令和元年度県内平均7.7%

問 市女性職員の管理職への登用を進めよう

みの中で平成23年、26年の3年間、土曜日と祝日の試験運行を実施した。全ての路線で利用者が非常に少なかったため平成26年より土曜と祝日の運行を中止した。現在、平日もバスの利用者数が減少しており、交通事業者の厳しい現状を考えると土日の運行は困難と考える。



地元業者が重機を1台でも多く確保できれば、災害時に早期復旧復興に繋がる

問 公共工事のダンピング受注は百害あって一利なし。ダンピング受注を徹底排除する方針は。

答 高須賀財政課長
設計金額500万円以上の工事に低入札価格調査制度、130万円〜500万円未満の工事に最低制限価格制度を導入している。これらを適切に運用し、過度なダンピングによる落札防止に努めたい。

市内業者育成と地域経済振興を図るため引き続き市内業者の受注機会確保に積極的に取り組んでいく。

問 市職員のうち障がい者は何人雇用されているか。
答 田中総務課長
今年6月1日現在、障がい者実雇用率は、市長部局が1.76%、教育委員会部局が2.48%。障がい者雇用人数は、市長部局、教育委員会部局それぞれ4人となっている。市長部局において、法定雇用障がい者数5人に対し、1人不足している。今後、令和2年度に策定した「障がい者活躍推進計画」に基づき雇用促進に努める。

問 市職員のうち障がい者は何人雇用されているか。

に対し、本市は14.3%(同2位)、令和2年度県内平均、7.4%に対し、本市は18.8%(同1位)となっており、県内20市町の平均を大きく上回っている。

渡部 勇次 議員

今後の災害に備え 危機管理の徹底を！



問 南海トラフ巨大地震等、大規模災害の発生が懸念される。災害対応を中心とした危機管理体制の整備状況は。

答 避難所運営マニュアル基本モデルを市ホームページに掲載して、市民への周知を図っている。新型コロナウイルス感染症対策を考えた体制も整えている。

問 山本危機管理課長 情報の伝達手段として、防災行政無線、市ホームページ、とうおんメール等があり戸別受信機の購入補助もしている。昨年8月から、とうおんアプリの運用を開始し、とうおんメールで配信した情報や防災行政無線の音声配信等を確認することができ



市役所倉庫にある防災備蓄品

答 丹生谷社会福祉課長 避難行動要支援者は4000人余りで、災害等有事には、近隣の方の協力が不可欠となる。組単位で個別避難計画を作成するなど、身近で迅速かつ的確な支援活動が行える体制構築に努める。

ごみ処理の広域化による課題を踏まえた施策を

問 次年度から、ごみの焼却を松山市南クリーンセンターに委託する。ごみ処理の広域化に伴うメリットとデメリット及び今後の方向性は。

答 森環境保全課長 広域化は、国の通知や県の計画に沿って進められており、維持管理費の縮減やダイオキシン類等、有害物質発生の抑制等のメリットがある。一方で、ごみ搬入距離の延

伸による運搬経費や排気ガス量の増加等のデメリットがある。今後、市単独の施設建設は考えていない。ごみ減量化、リサイクル率上昇を目指し、市民へ周知啓発を進める。

教職員が自らの資質や能力の向上を図れるよう環境を整備を

問 教職員に求められる資質・能力をどのように捉え、環境整備を図るのか。

答 池田教育委員会事務局長 人間力、信頼構築力、組織力、実践指導力が求められる。学校が抱える課題は複雑・困難化し、自己研鑽に充てる時間を十分に確保できないのが現状。今後も教職員の負担軽減を図りつつ、働きがいのある教育環境の整備、充実に取り組み。

丸山 稔 議員



まちづくり 「グリーンインフラ」の導入を

問 自然が持つ多様な機能を活用して、道路や河川などの社会基盤を整備する「グリーンインフラ」という概念を今後のまちづくりに導入すべきでは。

答 森環境保全課長 現在、市では街路樹の整備や棚田整備、生態系に配慮した泉の改修、自然再生整備された「かすみの森公園」の管理、重信浄化センター内でのピオトープ設置、市庁舎のグリーンカーテンで収穫したゴーヤを学

校給食に活用した環境教育等を実施している。

答 グリーンインフラの推進は、持続可能な開発目標（SDGs）の達成にもつながることから、将来を見据えた効果的・効率的な事業や施設整備などを進め、自然と共生した魅力ある東温市づくりに努めていく。

超高齢化社会への対応を

問 ①携帯電話をガラケーからスマホへ買い替えるため

の費用の一部補助導入を検討すべきでは。②スマホ初心者や、これから買い替えを考えている高齢者のための親切的なスマホ教室や講習会を開催すべきでは。

渡部企画政策課長

答 ①高齢者がスマホデビューする際の応援事業は既に昨年度、県が事業者との協働で費用の一部補助などを実施しており、東温市独自の補助は考えていない。

②現在、県と県内市町の連携、協力のもと、高齢者のニーズ調査や、分析結果に基づいたスマホ教室の開催やスマホの操作方法に関するコールセンター等々の設置について、来年度からの実施に向けた検討を進めている。また、今後のスマホ教室の開催にあたっては、基礎的な内容に加え、オンライン



ガラケー(左)とスマートフォン(右)

手続きの仕方や、SNSの使い方なども盛り込みながら、スマホの魅力や必要性をご理解いただけるよう充実に努める。

高齢者のフレイル予防にeスポーツの導入を。

大西市民福祉部長

答 eスポーツは、世代や地域を超えたコミュニティを形成できる点でも有効と考えられる。今後導入に関し、調査・研究を進めていきたい。

一般質問

閉会中の主な議会活動

Table with columns for dates and activities in October and November 2021. Includes items like '議会運営委員会', '総務産業建設委員会', etc.

行政視察

茨城県 つくばみらい市議会 総務常任委員会 視察テーマ 「選挙時送迎用無料タクシーについて」 本市議会では、初めてWeb会議システムによるリモート視察研修を受け入れられました。



議会だより 表紙写真を募集します

市議会では、年4回(5月・8月・11月・2月)「とつおん議会だより」を発行しています。より市民に親しまれる「議会だより」にするため、表紙の写真を募集しています。

募集する写真

市内で撮影した人物・四季折々の風景・学校行事・地域行事等の各種イベントの写真

応募の締切 令和4年5月1日発行号の締切

令和4年4月8日(金)

応募方法はQRコードにてご確認ください。



令和3年第5回臨時会提出議案 12案件

認定

認定1 一般会計ほか5会計歳入歳出決算認定
～6 8、9ページ参照

専決処分

報告5 和解及び損害賠償の額の決定
承認10 一般会計補正予算（第7号）
6ページ参照

条例、その他

議案40 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
議案41 特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正
議案42 職員の給与に関する条例の一部改正
議案40～42 期末手当支給割合引き下げ
議案43 農業委員会委員の任命

令和3年第6回定例会提出議案 27案件

補正予算

議案44 一般会計（第10号）
4、5ページ参照
議案45 国民健康保険特別会計（第1号）
議案46 後期高齢者医療特別会計（第1号）
議案47 介護保険特別会計（第1号）
議案48 田窪第2工業団地特別会計（第1号）
議案49 水道事業会計（第1号）
議案50 下水道事業会計（第1号）
議案61 一般会計予算（第8号）
子育て世帯臨時特別給付金（先行給付分）
議案62 一般会計予算（第9号）
子育て世帯臨時特別給付金
議案63 一般会計補正予算（第11号）

請願

請願2 米価の暴落阻止のため過剰在庫の市場隔離と生活困窮者への食料支援を求める請願
請願3 国立病院の機能強化を求める請願
請願4 子どもたちの舞台芸術体験教育の充実に関する請願
請願2～3 7ページ参照

条例

議案51 市立幼稚園設置条例の一部改正
議案52 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正
議案53 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
議案54 市立認定こども園条例の制定
6ページ参照
議案55 国民健康保険条例の一部改正
議案56 企業立地促進条例の一部改正
議案57 公共下水道条例の一部改正
6ページ参照
議案58 愛媛県市町総合事務組合理約の変更
議案59 愛媛県市町総合事務組合の共同処理事務構成団体からの脱退に伴う財産処分
議案60 松山衛生事務組合理約の変更
議案64 松山市、東温市共有山林組合の議会の議員の選任
～65

議会提出

発議3 市議会会議規則の一部改正
14ページ参照
意見書3 国立病院の機能強化を求める意見書
7ページ参照

議員の賛否が分かれた 議案・請願

議案	伊藤 隆志	山内 孝二	安井 浩二	近藤 千枝美	丸山 稔	相原 真知子	森 眞一	渡部 繁夫	丹生 谷 美雄	細川 秀明	松末 博年	亀田 尚之	渡部 勇次	永井 大介	大西 正之	野口 竜	議決結果 (賛成：反対)
議案第51号～第56号 市立幼稚園設置条例～企業立地促進 条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (14：1)
議案第57号 公共下水道条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (13：2)
議案第63号 一般会計補正予算（第11号）	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (14：1)
請願第2号 米価の暴落阻止のため過剰在庫の市場隔離 と生活困窮者への食料支援を求める請願	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	不採択 (2：13)

○賛成 ×反対 議長（渡部繁夫）は採決に加わらない。 上記以外は全員賛成。

令和4年の議会の動き



議長 渡部 繁夫

令和4年の新年を迎え、早くも1か月が過ぎました。

市民の皆様におかれましては、お健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃から、市議会に対するご理解と、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

「コロナ禍への対応

新型コロナウイルス感染症は、新変異株「オミクロン株」の感染拡大などによって未だに収束の見通し

が立っていません。今後3回目のワクチン接種が本格化しますが、接種がスムーズに進むよう、議会として取り組んでまいります。

議会だよりへ
市民の声を

市議会では、市民に親しみやすい「議会だより」を目指しています。昨年からは、PTA会長や地域で活躍している方々の声、また、予算化された事業のその後の状況取材して、紙面において市民の皆様にご登場いただく機会を設けました。今後、取材にお伺いした際には、議会に対するアンケートとともに、ご協力いただき、ますますようお願いいたします。

デジタル推進
特別委員会を設置



花きセンターの「今年（寅年）の立体花壇」

議会のデジタル化による①議会運営の効率化②広報公聴の充実③災害有事への対応等を専門的に調査研究し、推進することを目的に8人の委員で構成する「デジタル推進特別委員会」を設置しました。

議会だより
編集委員が交代

委員長 丸山 稔
副委員長 永井 大介
委員 山内 孝二
松末 博年
亀田 尚之
渡部 勇次
大西 正之
野口 竜

令和3年11月から議会だより編集委員会の委員が交代しました。

委員長 安井 浩二
副委員長 渡部 勇次
委員 近藤 千枝美
丸山 稔
森 眞一
丹生 谷 美雄
永井 大介
渡部 繁夫

議会の動き

市議会会議規則改正
議員だより編集委員会等
法律に基づく議会活動へ

議会では、本会議と委員会のほかに議員全員協議会や正副議長・正副委員長の事前協議など、議会を円滑に運営するための各種会議が組織されています。

これらの会議は、議会の慣例によって実質的に組織・運営されてきましたが、公務としての位置づけが不明確でした。

そこで、今回、会議規則に左記の会議等を「協議又は調整を行うための場」として定め、法律に基づく議会活動として明確にしました。

議会運営委員長
相原 真知子

- ① 議員全員協議会
- ② 議会だより編集委員会
- ③ 正副議長事前協議
- ④ 各正副委員長事前協議



人シリーズ

エール

東温市川上小学校

PTA会長

和田 わた

裕介 さん



川上小学校HP



子どもたちを取り巻く環境はタブレット端末を使用した授業など急激にデジタル化が進んでいます。一方で学校におけるPTAや地域の関わりも変化し、我が校でもコミュニケーションが導入され川上小学校の応援が増えています。その多くは協働活動サポーターと呼ばれる現在40人を超えます。

活動としては授業補助や体験活動支援、学校環境整備や登下校の見守りなどです。応援団は保護者をはじめ地域住民や地元企業などへ広がりを見せています。それは、地域とともにある学校づくりの中で、地域の人々と接することが子どもたちは学んだことを表現する機会となり、大人は子どもたちに思いを伝えていく機会となっているのではないのでしょうか。日々変化する環境の中で懸命に登校する子どもたちの姿に多くを学び、これからもエールを送り続けたいと思います。

3月定例会のお知らせ(予定)

日	月	火	水	木	金	土
				2/24	開会 25 総務・文教 委員会	26
27	28	3/1 一般質問	2 一般質問	3	4 質疑	5
6	7 調査日 (総務)	8 調査日 (文教)	9 総務委員会 分科会	10 文教委員会 分科会	11	12
13	14	15	16 予算委員会	17 閉会	18	19
20	21 春分の日	22	23	24	25	26

本会議 議場での会議

※総務委員会は、総務産業建設委員会
文教委員会は、文教市民福祉委員会を略して記載

傍聴される方へ(入場制限ご協力をお願い)

現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、傍聴定員28人を14人に制限しています。

傍聴される方は本会議場入場前の手指消毒、マスク着用、検温にご協力ください。

なお、傍聴受付時に検温を実施し37.5℃以上の発熱や体調がすぐれない方の入場は、お断りします。

議会 インターネット中継

「市のホームページ」で議会開会中、生中継がご覧になれます。
また、過去の録画中継もご覧になれます。



市議会ページ



東温市
イメージキャラクター
いのとん

マチイロ

議会だよりが
スマホで読めます。



編集後記

シリーズ企画「地域で活躍する人」。今回は上村の皆様に取材をさせていただきました。そこでは老若男女世代を超えて共通する、地域への愛着と誇りを感じさせられました。次号からも市内それぞれの地域での想いや取り組みをご紹介させていただきます。

議会議事の内容については、より皆様に関心を持っていただき、わかりやすくお伝えできますように、今後も更なる研究・工夫に努めてまいります。
(永井 大介)

発行責任者 渡部 繁夫
編集委員

委員長 安井 浩二
副委員長 渡部 勇次
委員 近藤千枝美
丸山 稔

〃 森 眞一
〃 丹生谷美雄
〃 永井 大介

表紙写真／丸山 稔